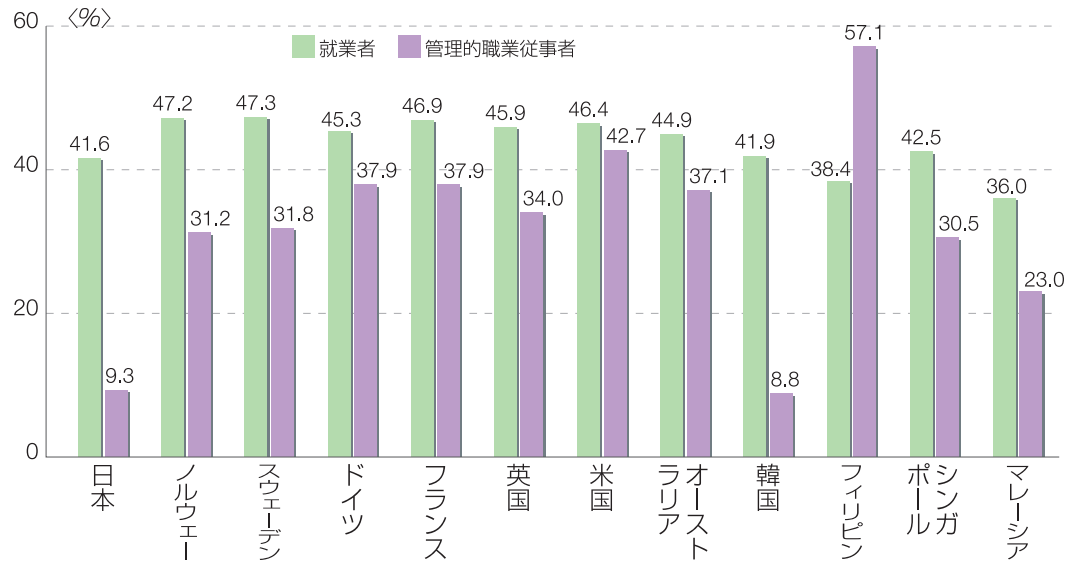


就労

管理職に占める女性の割合「9.3%」

就業者に占める女性の割合は、欧米諸国とほぼ同水準にありますが、管理職に占める女性の割合は9.3%と、韓国に次いで低く、フィリピン、マレーシアなどのアジア諸国にも大きく引き離されています。

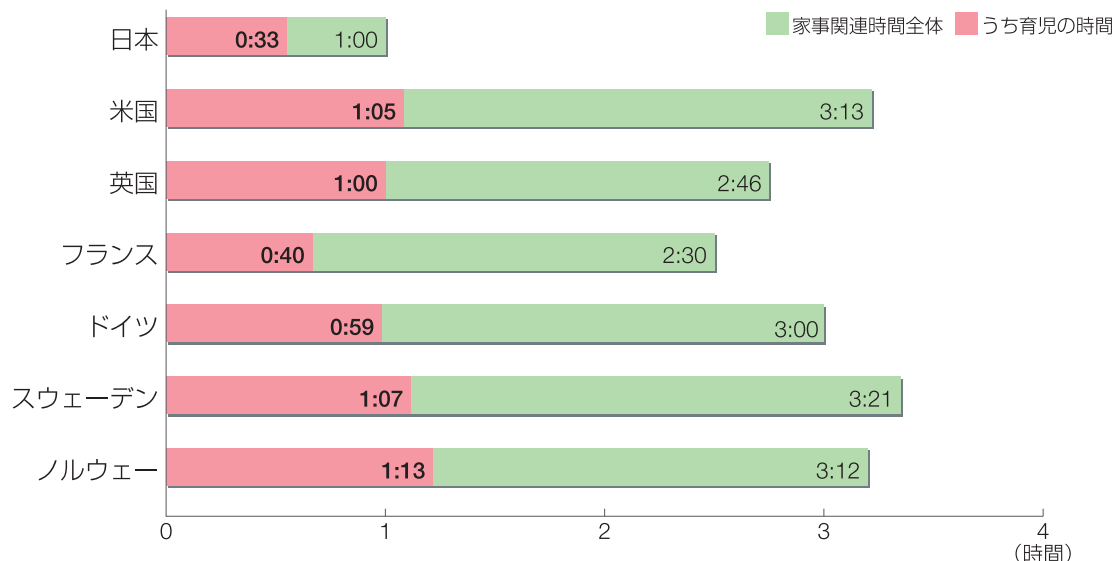


資料：日本は総務省「労働力調査」(平成20年)、その他の国はILO「LABORSTA」より作成  
日本は2008年、その他の国は2007年のデータ

ワーク・ライフ・バランス

男性の育児時間「33分」

男性の家事・育児に費やす時間は、国際的にみてもかなり低い水準となっています。1日あたりの家事関連時間は1時間、そのうち育児時間は33分です。

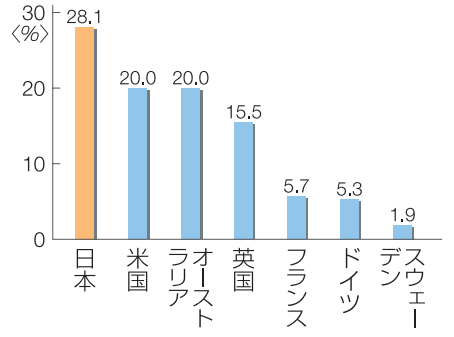


資料：Eurostat "How Europeans Spend Their Time Everyday Life of Women and Men"(2004)、Bureau of Labor Statistics of the U.S. "America Time-Use Summary"(2006)及び総務省「社会生活基本調査」(平成19年)より作成

ワーク・ライフ・バランス

週50時間以上働く人「28.1%」

日本の男性の家事育児時間が少ない要因の一つに、長時間労働があげられます。日本の週50時間以上働く労働者の割合は、28.1%で、男女平等の先進国であるスウェーデンはわずか1.9%です。

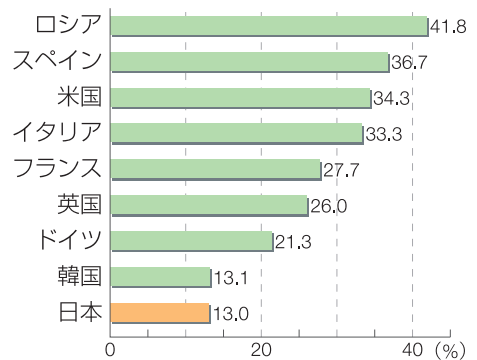


資料：ILO「Working time and worker's preferences in industrialized countries: Finding the balance」(2004)より作成

教育

研究者に占める女性割合「13.0%」

教育や研究の分野においても、男女がともに個性を発揮できることが大切です。日本の研究者に占める女性の割合は13.0%で韓国よりも低く、先進9か国中最下位となっています。



資料：1. EU諸国の値は、英国以外はEU「Eurostat」より作成。推定値、暫定値を含む。ドイツは2005年、ロシアは2007年。その他の国は2006年時点。英国の値はEuropean Commission "Key Figures 2002"に基づく(2000年時点)。  
2. 韓国の数値はOECD"Main Science and Technology Indicators 2008/2"に基づく(2006年時点)。  
3. 日本の数値は総務省「平成20年科学技術調査報告」に基づく(2008年3月時点)。  
4. 米国の数値は、国立科学財団(NSF)の「Science and Engineering Indicators 2006」に基づく雇用されている科学者における女性割合(人文科学の一部及び社会科学を含む)。2003年時点の数値。技術者を含んだ場合、全体に占める女性科学者・技術者割合は27.0%。